



日本政府とUNOPSによるベリーズ、ガイアナ、スリナム及びトリニダード・トバゴに対する医療機材供与を通じた保健システム強化のための支援

日本政府は、ベリーズ、ガイアナ、スリナム及びトリニダード・トバゴの保健・医療体制強化のため、国連プロジェクト・サービス機関（UNOPS）を通じて4.99億円（約480万米ドル）の医療機材供与を目的とした無償資金協力を行います。3月8日にUNOPSコスタリカ事務所で開催された署名式には、小松親次郎駐コスタリカ大使、アレハンドロ・ロッシUNOPSコスタリカ事務所長及び在コスタリカ・トリニダード・トバゴ大使館のアネサ・アリ・ロドリゲス参事官が参加しました。

2021年3月8日、コスタリカ、サンホセー新型コロナウイルスは、全世界に異なる形で影響を及ぼしていますが、保健・医療体制の強化は世界各国に共通して重要なものであることを知らしめました新型コロナウイルスに対する、効果的、効率的な対応を実現し国民の健康を守るため、各国政府は、強固な保健体制の構築のために多大な努力を払っています。

UNOPSは、この危機に対応するため、日本政府からの480万米ドルの無償資金協力を通じて、各国における必要な医療資機材や個人防護具の調達を支援します。この協力を通じてベリーズ、ガイアナ、スリナム、トリニダード・トバゴにおける医療制度の強化に貢献し、57,420人の裨益人口が見込まれています。

署名式で小松親次郎駐コスタリカ大使は、日本は、ベリーズ、ガイアナ、スリナム及びトリニダード・トバゴとの友好関係と親善関係を引き続き強化し、世界とともにコロナ禍との戦いに取り組む所存であり、コロナ禍が人類にもたらした未曾有の健康、経済及び社会的試練に立ち向かうために各国が緊密に協力し続けることは、私たち共通の利益に繋がると述べました。

アレハンドロ・ロッシUNOPSコスタリカ事務所長は、UNOPSの使命は国連システムの中で調達業務に中心的な役割を果たすことで、日本政府とは世界規模で協力をしてきた、カリブ諸国の保健当局と協力のもと、再び日本と世界的な感染拡大への効果的な対応と保健制度改善のために貢献できる資機材の調達においては、公正な公共管理のもと最高水準を適用すると述べました。

フランク・アンソニー・ガイアナ保健大臣は、ガイアナ政府及び国民は、個人用防護具や医療機材調達のためのこの無償資金協力に対し、日本政府及び国民に心から感謝の意を表する、この支援は、我々の連帯、戦略的協力関係及び強固な外交関係を象徴するものである、コロナ禍への対応には莫大な資源が必要であるが、医療従事者は困難な課題に対し、勇気をもって対応を行っている中で、この無償資金協力は極めて重要であり、医療従事者の保護だけでなく、新型コロナウイルス患者の福祉にも間違いなく貢献する、日本の寛大な協力に感謝する、と述べました。

本件はUNOPSにより、カリブ諸国の保健当局の要件を厳守しながら、調達と輸送を実施し、包括的に管理されます。それにより、日本政府が提供する資金の質の高さ、透明性、遂行能力を確保します。



小松大使、ロッシ事務所長、アリ・ロドリゲス参事官及びその他のカリブ諸国の主要な政府当局は、本計画への期待と、カリブ諸国における新型コロナウイルス感染拡大への効果的な対応を目指すこの協力へ感謝の意を表しました。



小松駐コスタリカ大使（左）とロッシ事務所長（右）



小松大使とロッシ事務所長による署名



トッド外務・国際協力大臣（左）と平山在ガイアナ共和国日本国大使（右）のテレビ会談



お問い合わせ
在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班
Tel: +(1-868)-628-5991
E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp